



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 エイジア

上場取引所 東

コード番号 2352 URL <http://www.azia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 美濃 和男

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 中西 康治

TEL 03-6672-6788

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	209	14.2	29	89.3	29	87.8	15	156.6
25年3月期第1四半期	183	8.4	15	△55.6	15	△54.5	6	△82.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.43	7.92
25年3月期第1四半期	3.45	3.31

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	899	739	77.9	376.11
25年3月期	946	735	74.0	376.71

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 700百万円 25年3月期 700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	400	12.8	40	15.1	40	2.1	21	10.9	11.29
通期	900	15.5	170	25.6	170	21.1	100	104.5	53.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,326,200 株	25年3月期	2,326,200 株
26年3月期1Q	464,600 株	25年3月期	466,800 株
26年3月期1Q	1,859,708 株	25年3月期1Q	1,774,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国の経済は、中国経済の成長鈍化や欧州経済の停滞など不安要素はあるものの、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした過度な円高の是正や株高の動きを受け、景気には改善の動きがみられます。

当社が属する情報サービス産業におきましても、IT投資を抑制する企業は依然として多いものの、積極的な設備投資姿勢に転換する企業も増えつつあります。

このような状況の下、当社は、“メールアプリケーションソフトのエイジア”から、“eコマースの売上UPソリューション(アプリケーションソフトと関連サービスの組み合わせ)を世界に提供するエイジア”へ事業領域を拡大し、売上・利益の増大を図るべく、当事業年度は、以下の施策に重点的に取り組んでまいります。

クラウドサービス(ASP・SaaS)の強化

事業領域の拡大に伴い発生するリスクに耐えうる収益力を確保するため、アプリケーション事業において、利益率と売上継続性の高いクラウドサービスの販売増強に、引き続き注力いたします。

中でも、個別カスタマイズにも対応する大型クラウドサービスであるSaaS型は、当社オリジナルのサービスであり、販売単価が高く、高い利益率を維持しており、当事業年度も重点的に強化を図ってまいります。

新製品・サービス開発の推進

比較的大型の新製品・サービスを、当事業年度中に2つ以上発売することを目標に、開発を推進いたします。

研究開発能力の増強

新製品・サービスの開発力をより一層強化し、当社の中長期的な成長力を高めるため、現状2ラインから成る研究開発体制のライン増強に着手いたします。

これらの取り組みの結果、当第1四半期累計期間においては、売上高209,353千円(前年同期比14.2%増)、営業利益29,013千円(前年同期比89.3%増)、経常利益29,659千円(前年同期比87.8%増)、四半期純利益15,684千円(前年同期比156.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

アプリケーション事業

主力のメールアプリケーションソフトの分野においては、利益率や売上継続性の高いクラウドサービスの販売強化に努めました。

6月には、スマートフォン向けフォームデザイン最適化ツール「SFO for WEBCAS」を発売し、順調に引き合いを伸ばしております。

サービスソリューション事業

アプリケーション事業の拡大に資する受託開発案件及びその保守業務、デザイン、eコマースサイト構築業務、マーケティングコンサルティング、メールコンテンツ提供サービスを中心に展開しております。

なお、次表に掲載の当事業の売上高総利益率が低下しているのは、前年同期には非常に採算の良い大型案件の受注があったことによるものです。

セグメント別売上高及び売上高総利益率

		平成25年3月期(前期) 第1四半期累計期間		平成26年3月期(当期) 第1四半期累計期間		増減	
		金額・利益率	構成比	金額・利益率	構成比	金額・利益率	増減率
アプリケーション事業	売上高(千円)	156,434	85.3%	184,045	87.9%	27,611	17.7%
	売上高総利益率	69.6%	-	71.7%	-	2.1	-
サービスソリューション事業	売上高(千円)	26,860	14.7%	25,307	12.1%	1,552	5.8%
	売上高総利益率	50.9%	-	20.5%	-	30.4	-
合計	売上高(千円)	183,294	100.0%	209,353	100.0%	26,058	14.2%
	売上高総利益率	66.8%	-	65.5%	-	1.3	-

クラウドサービス(ASP・SaaS)

ソフトウェア提供者(この場合、当社)が管理するサーバー上で稼動しているソフトウェアを、ユーザー企業がインターネット経由でサービスとして利用する形態。ユーザー企業は、サーバー・ソフトウェアの管理やライセンス費用の負担なく、毎月の使用料を支払うことで、比較的安価な利用が可能となる。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ47,820千円減少し、899,038千円(前事業年度末比5.1%減)となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ現金及び預金が50,444千円減少したことにより50,552千円減少いたしました。固定資産は、前事業年度末に比べ投資その他の資産が2,684千円減少した一方で、有形固定資産が4,002千円増加したことにより2,732千円増加いたしました。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ51,334千円減少し、159,997千円(前事業年度末比24.3%減)となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ前受収益が22,534千円増加した一方で、未払法人税等が76,911千円減少したことにより49,573千円減少いたしました。固定負債は、繰延税金負債が1,663千円減少したことにより、1,760千円減少いたしました。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度に比べ3,513千円増加し、739,040千円(前事業年度末比0.5%増)となりました。これは、四半期純利益15,684千円を計上した一方で、剰余金の配当13,945千円を行ったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物残高(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べ50,444千円減少し、436,983千円(前事業年度末比10.3%減)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な発生要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において営業活動の結果支払われた資金は、33,762千円(前年同期に営業活動の結果得られた資金54,886円)となりました。主な資金増加要因は、その他の流動負債の増加額35,278千円、税引前四半期純利益29,659千円によるものであり、主な資金減少要因は、法人税等の支払額77,903千円、賞与引当金の減少額13,446千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において投資活動の結果支払われた資金は、8,660千円(前年同期に投資活動の結果支払われた資金20,970千円)となりました。主な資金減少要因は、有形固定資産の取得による支出6,285千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において財務活動の結果支払われた資金は、8,022千円(前年同期に財務活動の結果支払われた資金6,043千円)となりました。主な資金減少要因は、配当金の支払額8,801千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は順調に推移いたしました。第2四半期以降の案件には不確定な要素が含まれることから、平成25年5月10日付当社「平成25年3月期 決算短信」にて公表した平成26年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,428	636,983
受取手形及び売掛金	100,527	102,936
仕掛品	4,548	1,993
繰延税金資産	18,200	6,506
その他	19,495	31,228
貸倒引当金	20	20
流動資産合計	830,180	779,627
固定資産		
有形固定資産	17,146	21,149
無形固定資産	9,762	11,176
投資その他の資産		
投資有価証券	56,813	54,287
関係会社株式	14,359	14,359
その他	18,597	18,438
投資その他の資産合計	89,770	87,085
固定資産合計	116,678	119,410
資産合計	946,859	899,038
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,815	1,864
未払法人税等	79,928	3,016
賞与引当金	27,776	14,329
その他	87,584	130,320
流動負債合計	199,104	149,530
固定負債		
長期前受収益	1,260	1,155
繰延税金負債	4,034	2,370
資産除去債務	6,933	6,941
固定負債合計	12,227	10,467
負債合計	211,332	159,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,420	322,420
資本剰余金	252,266	252,770
利益剰余金	191,995	193,734
自己株式	76,633	76,272
株主資本合計	690,048	692,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,409	7,520
評価・換算差額等合計	10,409	7,520
新株予約権	35,069	38,867
純資産合計	735,527	739,040
負債純資産合計	946,859	899,038

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	183,294	209,353
売上原価	60,778	72,169
売上総利益	122,516	137,184
販売費及び一般管理費	107,189	108,170
営業利益	15,326	29,013
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	4	360
受取手数料	145	81
未払配当金除斥益	-	261
助成金収入	297	-
雑収入	2	73
営業外収益合計	463	783
営業外費用		
為替差損	-	136
営業外費用合計	-	136
経常利益	15,789	29,659
税引前四半期純利益	15,789	29,659
法人税、住民税及び事業税	10,790	2,344
法人税等調整額	1,113	11,630
法人税等合計	9,676	13,974
四半期純利益	6,113	15,684

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	15,789	29,659
減価償却費	2,585	2,415
商標権償却	1	8
株式報酬費用	5,665	3,883
貸倒引当金の増減額(は減少)	26	-
賞与引当金の増減額(は減少)	4,195	13,446
受取利息及び受取配当金	18	367
為替差損益(は益)	-	71
売上債権の増減額(は増加)	65,454	2,408
たな卸資産の増減額(は増加)	6,641	2,554
仕入債務の増減額(は減少)	1,647	1,951
長期前受収益の増減額(は減少)	1,002	105
その他の流動資産の増減額(は増加)	9,944	11,985
その他の固定資産の増減額(は増加)	512	159
その他の流動負債の増減額(は減少)	23,307	35,278
その他	7	7
小計	63,882	43,773
利息及び配当金の受取額	18	367
法人税等の支払額	9,014	77,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,886	33,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,508	-
定期預金の払戻による収入	12,210	-
有形固定資産の取得による支出	444	6,285
無形固定資産の取得による支出	1,629	412
投資有価証券の取得による支出	29,598	1,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,970	8,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	-	779
配当金の支払額	6,043	8,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,043	8,022
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	27,872	50,444
現金及び現金同等物の期首残高	485,905	487,428
現金及び現金同等物の四半期末残高	513,778	436,983

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。